

旭川東高だより



シマレ ガンバレ

No.161

<http://www.sh.hokkaido.c.ed.jp/>

PTA事務局 〒070-0036 旭川市6条通11丁目 ☎23-2855

目次

- 1頁 入学式／校長挨拶
- 2頁 教職員の異動／着任教職員紹介
- 3頁 1学年担任紹介／PTA新役員紹介
- 4頁 対面式・生徒会オリエンテーション・部活動紹介／1学年研修報告／定時制だより
- 5頁 進路実績
- 6頁 進路指導部より／教務部より



新入生代表 鈴木陸碧くんの宣誓



こうしたことなどを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況ですが、教職員・生徒が丸となって、感染拡大のリスクを可能な限り低減した上で、「何ができるのか、どうすればできるか」知恵を出し、生徒の仲間意識や帰属感などを高める取組を継続したいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

また、五月の連休明けに、感染予防対策を徹底した上で有観客で実施された野球の春の大会がありました。本校の応援席には、野球部、吹奏楽部、応援団などの生徒、そして保護者の皆さんが、「マスク着用、声援なし」で整然と応援する姿があり、生徒の課題に対する対応力の高さを実感しました。

校内では、スクール・ミッションを踏まえて、入学者選抜から卒業までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するスクール・ポリシーを策定しており、これまで以上に、組織的かつ計画的な学校運営に努め、保護者の皆様にも協力をいただき、PDCAサイクルを通じて不断に改善・充実を図りながら、生徒の可能性を最大限に伸ばす取組を推進したいと考えています。

歴史や伝統の違いから全定で表現は異なりますが、要約すれば、変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成、「学校標語「シマレガンバレ」に基づき何ごとにも全力を尽くす精神を涵養し、社会に貢献できる有為な人材の育成」が本校のスクール・ミッションであると捉えています。

昨年九月に、道立学校では、学校の歴史や伝統、現在の社会や地域の実情を踏まえて、また、三〇年後・二〇年後の社会像・地域像を見据えて、学校の期待される社会的役割や目指すべき学校像を明確化する形でスクール・ミッションが再構築されました。

全日制二四〇名、定時制一八名の新入生を迎え、全校生徒七五九名で、今年度の教育活動がスタートしました。



スクール・ミッション

校長 三条 歩

教職員の異動

退職

小林為五郎 校長(国語) 定年
 小林 英樹 教諭(理科) 定年
 近藤 誠 教諭(数学) 定年
 高子 和雄 教諭(英語) 定年
 滝澤 俊秀 教諭(英語) 定年
 千葉 一彦 教諭(音楽) 定年
 中山 正幸 教諭(保健) 定年
 原 徳之 教諭(英語) 定年
 山根 志津 教諭(家庭) 定年

転出

小林 茂広 教頭(英語) 富良野高校
 大内由貴恵 教諭(国語) 旭川東高校定時制
 柴山 朝幸 教諭(国語) 北海道教育庁
 松井 恵一 教諭(地公) 札幌西高校
 野矢有希子 教諭(保健) 旭川商業高校
 近藤 剛史 教諭(数学) 旭川工業高校
 西中 剛志 教諭(保健) 旭川東高校全日制
 東海林哲代 養護教諭 旭川高等支援学校
 工藤 仁美 専門主任 深川西高校

転入

三条 歩 校長(理科) 室蘭東翔高校
 大内由貴恵 教頭(国語) 旭川東高校全日制
 高橋 健一 教諭(保健) 日高高校
 千葉 雄次 教諭(英語) 東川高校
 岩本 清海 教諭(地公) 網走南ヶ丘高校
 越澤 弘幸 教諭(数学) 稚内高校
 西中 剛志 教諭(保健) 旭川東高校定時制
 太田 道男 教諭(数学) 有明高校
 福澤 萌 教諭(英語) 剣路明輝高校
 中山 正幸 教諭(保健) 継続
 原 徳之 教諭(英語) 継続
 山川 和志 教諭(数学) 深川西高校
 菊地 陽子 教諭(家庭) 新十川商業高校
 原 拓也 教諭(保健) 名寄産業高校
 太田 安紀 養護教諭 札幌中央東部小学校
 倉田 健人 事務職員 上川教育局

着任教職員紹介

全日制・定時制・事務計14名の職員を紹介します



校長 三條 歩

生徒の皆さんの可能性や能力を最大限に伸ばすため、これまでの伝統を継承しつつ、スクール・ミッションを起点に、P.D.C.Aサイクルを通じて取組の改善・充実を図っていきますので、よろしくお願いたします。



教頭 大内由貴恵

生徒のみなさんが安心して登校し、学習に取り組めるよう、先生方とともに精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 高橋 健一

30年余の教員生活を経て、このたびご縁があり、母校である旭川東高校で勤務させていただきます。これまで以上に頑張りたいと思います。



教諭 千葉 雄次

スマホやタブレットを通して知識が実用化された今、英語を学ぶとはどういうことかを改めて考えています。生徒の皆さんに学んで良かったと思ってもらえるような授業作りを頑張りたいと思います。



教諭 岩本 清海

歴史ある旭川東高校で勤務できることを大変うれしく思います。一日も早くこの学校に慣れ、自分自身も常に学びながら、生徒のみなさんのために頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 越澤 弘幸

伝統ある旭川東高等学校で勤務できることを大変うれしく思っております。私自身も学ぶことに手を緩めず、みなさんのサポートができるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 西中 剛志

自らを育て、成長させてくれた高校で勤務できることに感謝しております。何事にも手を緩めず、一生懸命やり切る生徒の皆さんのお役にたてるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 太田 道男

経験あつて、旭川東高校で勤務させていただきます。これまで以上に頑張りたいと思います。



教諭 福澤 萌

歴史と伝統ある旭川東高等学校に就任したことを嬉しく思います。私自身も学び、成長しながら、少しでもみなさんのサポートができるよう誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 山川 和志

定年を目前にして初めての定時制勤務となりました。授業時間帯を始めこれまでと全く異なる世界で、生徒たちのために頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 菊地 陽子

定時制の勤務は初めてとなりますが、生徒それぞれの夢に向けてサポートしていく所存です。生徒や先生方から学びながら、良いスタートを切れるように、第二杯頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



教諭 原 拓也

再任用教員で定時制での世話になります。日も早く環境慣れ、生徒の楽しい学校生活のサポートができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



養護教諭 太田 安紀

初めての旭川、初めての旭川東向、初めての養護教諭と初めてのことばかりで頼りないかもしれませんが、みなさんの健康のために日々がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



事務職員 倉田 健人

学校勤務は初めてのため空らぬ点も多々あると思いますが、熱心頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

一学年担任紹介 (メッセージ)



〈全日制〉
学年主任 (6組担任)
花尻 健明

現代はVUCA (Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) の時代と呼ばれており、取り巻く世界は予測不可能性の度合いが増し、従来の価値観では立ち行かない急激な変化の時代を迎えていると言われています。高等学校においてもこのことは例外ではありません。今年度より新学制指導要領によるカリキュラムがスタートし、より主体的で深い学びが要求されることや、みなさんが受験する令和7年度大学入学共通テストでは科目の変更のみならず、「情報」が教科として新たに課されます。さらには、ECCOとして個人で情報端末を用意し、個別最適な学びにつなげていくことなど、大きな変化を遂げるこの局面においては、みなさんの力だけではなく様々な力を結集して立ち向かわなければなりません。

ここで、みなさんに読んでもらいたいことは、「対話する力」です。対話する力というとは、いかに流暢に自己表現できるかに着目されがちですが、私は「聞く力、受け取る力」が特に大切であると考えています。これは、他者の言葉や自分の目の前で起きてくることなど、日常のあらゆる場面で育てることでできます。それぞれの場面で自分の視野を広げ、多面的・多角的に考えたり、人の痛みを想像したり、相手の立場に立って考えたりすることができるようになって欲しいと思います。

さらには、学問と対話することも大切です。目の前の学びと向き合っていくことで、自分は何者かのようなことを学びたいのか見えてくるはずですが、また、時間をかけて、今学んでいる学問は社会とどのように繋がっているのかを考え、「学びの本質」とは何かが自分なりの答えを見つけて欲しいと思います。対話を通じて自己の学びを深めることができる東高生は様々な場面で実力を発揮していると私は確信しており、みなさんにもこの東高で対話力を育て、自分の可能性を広げて欲しいと思います。

これからのいよいよ高校生活が本格的にスタートしますが、何か困ったことがあれば東高の友人や先生に相談してください。必ずよきサポーターになってくれるはずです。そして多くのサポーターの力を自分の力とし、未来への一歩を踏み出してください。

保護者の皆様、お子様のご入学、心からお祝い申し上げます。担任をはじめ全職員がお子様一人ひとりの成長を見守り、充実した高校生活となるよう努めて参ります。また、保護者の皆様と学校が密に連携していきたいと思っておりますので、何かお子様のことでお気づきのことがあれば学校までご連絡いただければ幸いです。3年間どうぞよろしくお願ひ致します。



1組担任
五十嵐友太郎

自身の力を謙虚に見つめ、受け身とならなずに自ら考え、周りの仲間と共に奮然に取り組む人を応援します。



2組担任
城 将貴

色々なことに臆さず挑戦していきたくしたい、そういう人を全力で応援していきます。東高生として胸を張って！



3組担任
本間 伸

仲間と楽しみ、高め合い、日々学ぶ(学び合うとする)充実した3年間を一緒に過ごしましょう。



4組担任
森蔭 祐

がんばることが美德とされる世の中ですが、個人的にはほどほどにがんばって、たくさん遊んでほしいです。遊びの中に学びがある。



5組担任
西中 剛志

1年生のみながさんが、卒業するときには、東高に来て良かった、と思ってもらえる学年にします。何かの縁で集まった仲間たちと共に頑張ります。



〈定時制〉1年担任
山川 和志

東高では私も1年生です。生徒と一緒に成長できればと思っております。みんなが居心地のよいクラスになることを願っています。

令和4年度
北海道旭川東高等学校
PTA・後援会役員

PTA新役員を紹介します

役員名	氏名	学年	担当
会長	北岸 晴之	2年	総務
副会長	三宮 元樹	2年	教養委員会
	丹代 品了	3年	広報委員会
	上林 五次	2年	生活委員会
	近藤 英志	3年	広報委員会
	坂本 輝志	2年	教養委員会
	山口 謙了	2年	定時制委員会
	松本 真一	1年	教養委員会
	齊藤 真由夫	2年	定時制委員会
	小林 有香	2年	生活委員会
	小林 英美	1年	生活委員会
会計	千田 弘行		本校副校長
事務局長	今野 博友		本校全日制教諭
学年委員	齋藤 一志	3年	3年学年委員会
	佐藤 卓江	2年	2年学年委員会
	杉山 利廣	1年	1年学年委員会
	山口 雅子	2年	定時制委員会
	三宅 和博	3年	教養委員会
	山岸 幸苗	2年	生活委員会
	小林 弘典	2年	広報委員会

対面式・部活動紹介
生徒会オリエンテーション



剣道部紹介



音楽部による校歌・応援歌指導



応援団から激励



吹奏楽局による歓迎演奏



卓球部紹介



書道部紹介



1学年担任団から激励?!



ダンス同好会披露



軽音楽同好会紹介



野球部紹介



生徒会から激励



水着一ズ

今年度は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、宿泊を伴う研修を行うことが出来ませんでした。しかし、そのような様々な制約がありながらも、研修はとて有意味なものとなりました。

まず、私たち1年生は班に分かれ、旭川と密接に関わるSDGsについての調査を行いました。私が所属していた班では、子どもたちの貧困問題に取り組んでいることも食卓にお伺いし、お話を聞きました。私たちはそこで、「子ども食堂」では単に食料提供だけを行っているだけでなく、子どもたちと共に調理を行うなど、子どもたちと地域の方々との交流の場となっていることを知りました。その一方で、「子ども食堂」の存在について理解している市民が少ないことや、支援が少なく経営面での負担が大きいといった課題があることも知りました。「子ども食堂」の方々のお話を聞くことで、これらの問題を私たちの力でのようように解決することができると考える良い機会となりました。調査後は、班員と一緒にラーメンを食べに行きました。入学間もなかった私たちは、最初こそ会話が少なかったものの、ラーメンを待つ間にどんどん話が弾んで、仲を深めることができ、同じ釜の飯を食べた仲とはこういうことなのかと、少し嬉しく感じました。

翌日、私たちはSDGsの調査を踏まえたポスター作りに取り組みました。班員と話し合いを重ねながら、模造紙に要点をまとめ、発表に向けてプレゼンの練習をしました。そして発表タイムでは、無事にプレゼンを終えることが出来ました。他の班のプレゼンも、分かりやすい説明や、デザインに工夫を凝らした見やすいポスターなどで、どれも教時間で完成したとは思えない素晴らしいものでした。

そして最後に、体育館で学年レクを行いました。研修係が考えたゲームはどれも楽しく、クラスや学年の団結力を深めるものとなりました。

今回の研修を通して、旭川にもSDGsに取り組む企業や活動が多い一方、課題も多く、私たちが今後どのように解決すべきかを考えることが出来ました。そして、この2日間の研修は、高校最初の最高の思い出となりました。



全日制1年 高橋 舞

研修を終えて



入学式（生徒代表宣誓）



対面式

四月八日（金）、十八名の新入生を迎え、令和4年度の入学式を挙行いたしました。厳かな雰囲気の中、入学学生代表として北優月くんが、「しっかりと仕事と学業の両立に励みながら充実した高校生活を送ることを誓います」と宣誓を行いました。

十二日（月）には始業式を行い、定時制課程四十四名で令和四年度が始まりました。

十二日（火）の対面式では、生徒会執行部の生徒たちが作成したスライドで学友行事や教職員が紹介され、一年生は興味深く見入っていました。

また、今年度から、「総合的な探究の時間」において、経済産業省から発信されている「STREAMライブラリー」を軸とした活動を取り入れます。「STREAM」とは、科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、人文社会・芸術・デザイン(Art&Mathematics)をさし、様々な分野を融合した探究活動を行います。第一回目は、「心地よさの追求」をテーマに、ストレンスの定義やリラックス方法について学びました。

生徒一人一人、定時制課程で学ぶ目的はそれぞれです。自分で決めた道を力強く進むためにも、探究活動を通じて社会性についての考えを深めていくことを期待しています。

今後とも、定時制課程へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



定時制だより

令和4年度 大学・各種学校等合格者数一覧 (のべ数)

国立大学

道内国立大学		現役	過卒	合計	
合計		12		12	
旭川医大	医	6		6	
	看護	6		6	
小樽商科大		6	1	7	
帯広畜産大					
北見工業大		3		3	
合計		40	3	43	
北海道大学	人文	9		9	
	法	3		3	
	教育	3		3	
	経済		1	1	
	理 数学	1		1	
	工 機械知	1		1	
	医 医	1		1	
	医 医(看護)	1		1	
	医 検査医	2		2	
	医 放射線	3	1	4	
	歯 歯	1		1	
	水産	1		1	
	総文	2		2	
	理 数学	1		1	
	理 物理	3	1	4	
	理 化学	3		3	
	理 生物	1		1	
	理 総合	4		4	
	合計		13	3	16
	教育大	旭川	5		5
釧路			2	2	
岩見沢		3		3	
札幌		5	1	6	
函館					
室蘭工業大		2	2		
道内国立大学計		76	7	83	

道外国立大学		現役	過卒	合計
徳島大		1		1
九州大		1		1
長崎大		1		1
大分大			1	1
熊本大		1		1
琉球大			1	1
道外国立大学計		52	10	62

公立大学

道内公立大学		現役	過卒	合計
札幌市立大		3		3
千歳科学技術大		2	1	3
釧路公立大		1	1	2
名寄市立大		1		1
合計		6	5	11
札幌医大	医	5	5	10
	看護	1		1
	理学			
	作業			
道内公立大学計		13	7	20

道外公立大学		現役	過卒	合計
秋田公立美大		1		1
高崎経済大			1	1
群馬県立女子大		1		1
東京都立大		3		3
横浜市立大		2	1	3
長野大		1		1
諏訪東京理科大			1	1
金沢美術工芸大			1	1
都留文科大		1		1
大阪公立大		1		1
兵庫県立大		1		1
神戸市外大		1		1
高知県立大		1		1
道外公立大学計		13	4	17

国公立大学合計

国公立大学	現役	過卒	合計
国立大学計	128	17	145
公立大学計	26	11	37
合計	154	28	182

私立大学

道内私立大学		現役	過卒	合計
旭川大		4		4
札幌大		2	1	3
札幌学院大		5		5
藤女子大		5		5
北星学園大		3		3
北海学園大		25	3	28
北海道医療大		6		6
北海道科学大		30	10	40
北海道情報大		1		1
酪農学園大		3		3
北翔大		2		2
日赤北海道大		2		2
北海道文教大		3		3
天使大		9		9
札幌保健医療大		7		7
日本医療大		4		4
道内私立大学計		111	14	125

道外私立大学		現役	過卒	合計
八戸工大		1		1
岩手医大			1	1
千葉工大		2		2
青山学院大		4		4
亜細亜大		1		1
学習院大		1		1
学習院女子大		1		1
神田外語大		2		2
杏林大		3		3
慶応大			1	1
國学院大		1		1
国際基督教大		1		1
工学院大		10		10
国士館大			1	1
駒澤大		1		1
芝浦工大		6	1	7
順天堂大			1	1
上智大		2		2
成城大		4		4
専修大		3		3
創価大		1		1
大正大		8		8
大東文化大		1		1
玉川大			1	1
中央大		18	5	23
帝京大		3		3
東京有明医療大		1		1
東京医科大		2		2
東京女子医大		1		1
東京農大		1	3	4
東京理大		5	4	9
東邦大			2	2
東洋大		9		9
二松学舎大			1	1
日本大		2	5	7
日本歯科大		2		2
日本女子大		1		1
日本体育大		1		1
法政大		11	3	14
星薬科大			2	2
武蔵大		1		1
武蔵野大		3		3

道外私立大学		現役	過卒	合計
明治大		12	7	19
明治学院大		2		2
立教大		3		3
立正大		4		4
和光大		1		1
早稲田大		5	1	6
神奈川大		3		3
フェリス学院大		1		1
中京大			2	2
京都外大		3		3
京都産業大			6	6
同志社大		4	6	10
同志社女子大		1		1
立命館大		6	4	10
龍谷大		4		4
大阪工大		2	1	3
大阪電気通信大			2	2
関西大		3	2	5
関西外大		1		1
近畿大		5	7	12
関西学院大		1	2	3
立命館アジア大		2		2
道外私立大学計		177	71	248

私立大学合計

私立大学	現役	過卒	合計
道内私立大	111	14	125
道外私立大	177	71	248
合計	288	85	373

短期大学

短期大学計	現役	過卒	合計
短期大学計	4		4

文科省所管外

文科省所管外	現役	過卒	合計
防衛医科大学校	2		2
防衛大学校		1	1
看護大学校		2	2
文科省所管外計	2	3	5

専門学校

専門学校	現役	過卒	合計
旭川厚生看護	1		1
道立旭川高専	2		2
道ハイテクノジ	1		1
専門学校計	4		4

海外大学

海外大学	現役	過卒	合計
セゲド大	1		1
バンクーバー島大	1		1
海外大学計	2		2

令和4年度の入試結果について



進路指導部長
堀江 昌昭

令和4年度卒業生の大学合格延べ人数は、国公立大学154名(前期108名、中後期36名)、総合型選抜6名、学校推薦型選抜4名、私立大学288名で、例年通り受験校の中心は国公立大学でした。

難化が報じられた今春の共通テストは国語や数学の難易度が上がり、東大の2次試験においても同様な傾向が見られました。本校生徒もその影響を強く受けておりましたが、平均点を昨年より高めた教科がいくつもあり、その影響を最小限に食い止め、ぶれることなく当初からの志望校に果敢にチャレンジしていました。第一志望は叶わなかった生徒も、四度にわたる入念な志望校シミュレーションをしていたこともあり、希望の進路に進めるような最善の選択をしていました。

今春入試で見られた本校の特徴を挙げると、次の三点になります。

- ①共通テストの難化により全国的に平均点が大幅に下がり、各大学のボーダーラインが例年に比べて6〜10%もダウンした。
- ②難関国公立大学に59名(うち北大40名)、国公立大医学部に13名が合格、共通テストの難化をバネにして、記述力を付けた生徒が例年より多かつたことが窺える。
- ③学校推薦型・総合型選抜の受験者は29名と過去最少になったものの、東大の学校推薦型選抜や北大フロンティア入試タイプ1に合格者が出た。

逆境の中でもこのような好成果が表れた要因を3月まで担任だった私なりに考えてみると、「知的好奇心が旺盛で、授業でも何でも面白がって受けてくれる生徒たちだったなあ」という特長が真っ先に思い浮かびます。彼らのおかげで教える我々も気分が高揚し、自然に授業に活気が出るという理想の環境で過ごした、本当に楽しい3年間でした。そんな彼らは、共通テストの難化という道場にあっても前向きな姿勢を崩さず、明るい雰囲気を保ちながらみんなで助け合い励まし合って受験を乗り越えてくれました。この「受験は団体戦」という空気の後押しを受け、本番の2次試験で過去最高の成果を挙げ、現役生は最後まで伸びる」を体現してくれた生徒が、本当に多かったように思います。「豊かな人間性をもち教員に富んだ」生徒に育ってくれた彼らのお陰で「道北および道内有効の進学校としての責務」を全うでき、本校の使命(スクールミッション)を果たすことができました。

四月には進路指導室自習スペースに新しい椅子が入り、座り心地のよい椅子で生徒が自習に励むことができ、環境が整いました。誠にありがとうございました。引き続き、引き続き、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



新学習指導要領について



教務部長
石本 潤

今年度の入学生より新学習指導要領が実施されます。文部科学省からは、①知識及び技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力、人間性等を3つの柱とし、「子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を育成すること」を目的とする、というメッセージも出されており、学校としてもこの学習指導要領に対応するため、昨年度から準備を進めてまいりました。

まず今回の改定では、各教科の科目名がいくつか変更され、例えば、「論理国語」、「歴史総合」、「公共」などといった科目が新たに設定されました。科目名は変わらなくても、学習内容の見直しが行われております。今までは授業で扱ったことのないものもあり、担当の教員は教科ごとに事前の教材研究、会議を重ね授業を実施しております。加えてICT環境の整備、活用も求められており、機器が揃う夏季休業明け以降はタブレットを使用する前提で授業を実施するスタイルを導入していく予定です。

また、もう一つ新たに導入されることとして、「観点別学習状況の評価」というものがあります。従来、本校の成績の評価は、考査得点や授業で実施した課題の得点などを総合的に判断し100点法で表

し、そこから5段階の評定を付けていました。

現1年生からは少しこの仕組みが変わります。簡単に説明しますと、先ほど述べた3つの資質・能力がそれぞれどの程度育成されているかをA、B、Cの3段階で評価し、それらを合わせてA B Aなどと評定し、それらに合わせて100点法に換算し5段階の評定を付ける、といった形になります。今までは、「定期考査で〇〇点取れたから評定は△だ」という考え方が適用できなくなると思われます。

評価システムは少し変更になりますが、ともかく、授業に集中して参加し、教科書に書いてあることを確実に理解し、家庭学習で演習を重ねていけばある程度良い評価が得られる(学力が育成される)ことは基本的には変わりありません。改編のポイントには、「教科書に載っていないこと、型にはまらないこと」に対して意欲的にチャレンジして学ぶことができるか、という部分でしょう。

とりあえず簡単に説明をさせていただきましたが、今年度から新たに始まることですので、今後もClassiiの配信などでいろいろと情報提供を行っていきたいと思います。

本校の使命である、大学進学に向けた学力の育成は継続しながら、新たに育成が求められる学力も伸ばすため、今後も授業改善の研究を重ねていきたいと思っております。